

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 27 日作成)

小委員会名	プロジェクトマネジメント小委員会		主 査 名：山崎 雄介 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：安藤 正雄
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	プロジェクト運営の信頼性を確立することを可能とする建築プロジェクトのマネジメントの枠組みとあり方を検討する。 1. 多様なプロジェクト方式における、参画主体の役割・責任の割り当てを中心としたマネジメント実践事例の収集と適用されている方法・枠組みの抽出 2. 上記のマネジメントに関して国内外で実践または提案されている手法や理論的枠組、支援ツールなどに関する情報・資料の収集		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 山崎雄介 (清水建設)、小栗新 (Arup Japan)、安藤正雄 (千葉大学)、浦江真人 (東洋大学)、金山裕介 (新本鉄エンジニアリング)、楠山登喜雄 (フタバエンジニアリング)、齋藤隆司 (日本郵政)、中岡一郎 (大和ハウス工業)、西野加奈子 (建築・住宅国際機構)、肥田景明 (日本設計)、平野吉信 (広島大学)、古阪秀三 (京都大学)、村田達志 (山下ピー・エム・コンサルタンツ)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/pm/	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	1. 大規模複雑プロジェクト管理方式の国際比較研究：都市開発・空港施設を対象に 4 例 2. 手法・理論的枠組、支援ツール等の検討：レジリエンス、リスク管理、設計変更管理を検討 3. わが国企業の国際建設プロジェクトにおける課題分析と対応策の検討：提案まとめ
委員会活動の問題点 ・課題	1. ワークショップの開催：24 年度中の開催検討、可能な範囲での成果の公表 2. 収集事例の比較分析：海外・異業種のプロジェクトマネジメント研究者との共同研究

	3. 若手研究者の育成：小委員会へ学生が参加できる課題の検討
--	--------------------------------

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。